

文化間の衝突を超えて

文化で異なる〈論理〉の構造

教育やビジネス、学術研究などでは「論理的に考えること」が重視されている。一般に論理は世界共通で不变だと考えられているが、実際には〈論理的〉のあり方は文化によって大きく異なっている。本講演では、日本、アメリカ、フランス、イランの学校作文の「型」をもとに、いわゆる「論理学」の論理とは異なる「文化によって規定される論理」、「価値に紐づいた論理」の構造を分かりやすく紐解いていく。そのうえで、社会、経済、政治、法技術の4つの領域に固有の論理を抽出し、これから世界で生きるために不可欠な能力としての「多元的思考」を提案する。

日時

2026年

3月5日木

13:30-16:00(予定)

13:00 受付開始

会場**豊田工業大学**
豊田喜一郎記念ホール **オンライン同時配信****参加費無料****プログラム**

- 13:30 開会／ごあいさつ
- 13:45 講演
- 14:45 休憩
- 15:00 パネルディスカッション
- 16:00 閉会／ごあいさつ

参加方法

- 会場参加(定員250名・先着順)
 - オンライン参加
- 参加登録締切:2月24日

どちらも
要登録
詳細はこちら



学校法人 トヨタ学園
豊田工業大学
進むなら、足跡のない方へ。

豊田工業大学 次世代文明センター

〒468-8511 名古屋市天白区久方2-12-1
(地下鉄桜通線 相生山駅 1番出口から徒歩約10分 駐車場、駐輪場あり)
TEL 052-809-1764 / Email s-koho@toyota-ti.ac.jp

次世代文明センター 検索



「次世代文明センター」は先端的な知の形成を目指す、豊田工業大学の教育・研究センターです。

第6回 次世代文明センターシンポジウム

講演者紹介

渡邊 雅子 教授（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）

■ 略歴

- 1998年5月 米国コロンビア大学大学院 社会学部 博士課程修了
最終学位：Ph. D. (博士/社会学)
- 1998年6月 東京大学社会科学研究所 研究支援推進員
- 1998年10月 国際日本文化研究センター助教授
- 2007年5月 名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授
- 2012年1月 名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授（現在に至る）
日本学術会議連携会員、中央教育審議会専門委員、日本教育学会理事、
日本教育社会学会推薦理事・代議員を務める（2026年3月現在）。
『論理的思考とは何か』（岩波新書 2024年刊行）に第34回山本七平賞
が授与される（2025年9月）。

■ 主要著作

- 『共感の論理——日本から始まる教育革命』（岩波新書、2025）
- 『論理的思考とは何か』（岩波新書、2024）
- 『論理的思考の文化的基盤——4つの思考表現スタイル』（岩波書店、2023）
- 『論理的思考の社会的構築——フランスの思考表現スタイルと言葉の教育』（岩波書店、2021）
- 『納得の構造——日米初等教育における思考表現のスタイル』（東洋館出版社、2004年）
- 〔文庫版〕『納得の構造——思考表現スタイルの日米比較』（岩波現代文庫、2025）
- 〔ペルシャ語への翻訳出版改訂版：Watanabe, Masako Ema. 2022. Writing for Living.
Translated by Rezaei Alireza. Tehran: Nashr-e Ney.]
- 『叙述のスタイルと歴史教育——教授法と教科書の国際比較』〔編著〕（三元社、2003年）